

# 中学校 3 年

## これからの社会について考えよう

東大阪市立布施中学校

教科

社会

単元名

現代社会と私たち

### 本時のねらい

・グローバル化や少子高齢化、情報化が進むことで、これからの社会にどのような影響があるかを考える。

### 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・Google スプレッドシートを活用し、単元の流れを掴む。必要な資料や情報を単元のはじめに共有することで、生徒自身が単元計画を作成し、学びを進める。単元計画表にその日の目標やめあて、目標達成のために何をするかを記入して学習を始める。  
・1 時間の学習の振り返り、進捗状況をスプレッドシートに記入する。

### 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・Google スプレッドシート      ・Kahoot      ・NHK for school  
・eboard      ・電子黒板

### 本時の展開

| 学習の流れ        | 主な学習活動と内容                                                                                                                                                                          | ICT 活用のポイント・工夫                                                                                                                                                                    |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 導入<br>(5 分)  | <p>【単元の学習課題】<br/>グローバル化や少子高齢化、情報化等がこれからの社会にどのような影響を与えるのかを考えよう。</p> <p>○単元でどのような学び方ができるかを示した社会科 CanDo リストをもとに、Google スプレッドシートへ本時の目標・めあての設定を行い、その達成のために何をするかを記入する。</p> <p>【写真 1】</p> | <p>・スプレッドシートを活用し前回までの学習状況を確認する。</p> <p>・スプレッドシートで残りの総授業時間と進捗状況を照らし合わせて、自己調整するよう伝える。(用語・重要語句をおさえ演習問題をする、単元を貫く問いに対して教科書・資料集を参考に論理的な文章をつくる、など) そうすることで、残授業時間に応じて各自で学習を進めることができる。</p> |
| 展開<br>(40 分) | <p>○教科書や資料集、ワーク、インターネット等をもとに、自身で設定した目標やめあての達成に向けて学びを進める。(ノートにまとめる、スライドにまとめる、問題を解く、単元を貫く問いについて考える)</p> <p>【写真 2】</p>                                                                | <p>・学び方を自己選択する。</p> <p>・教員から説明を受けたい生徒に対しては、電子黒板とワークシートを使って支援する。</p>                                                                                                               |
| まとめ<br>(5 分) | <p>○授業の最初に設定した目標がどれくらい達成できたのか、☆の数で自己評価する。</p> <p>○1 時間の学習の振り返り (何が理解できたか、どのように学習できたか、次回どうするのか) をスプレッドシートへ記入する。</p> <p>【写真 3】</p>                                                   | <p>・前回までの自身の振り返りや教員からの評価を見ることができる。</p> <p>・生徒たちは、他者参照することで他者の進捗状況や学び方がわかる。</p>                                                                                                    |

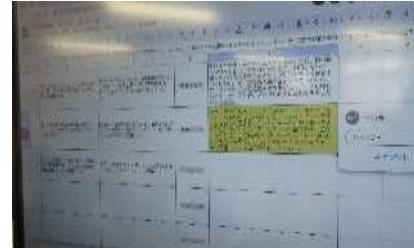
### 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】本時の目標・めあてを記入している様子



【写真 2】自身で設定した目標やめあての達成に向けて各自で学びを進める様子



【写真 3】スプレッドシートに振り返りの記入をしている様子 (共同編集のため他者の進捗状況や学び方を参照することができる)

### 児童生徒の反応や変容

・スプレッドシートを活用して、これまでの学びを踏まえた中で本時の学習に必要な情報やおさえるべき点を確認することができている。  
・クラウドを活用することで、他者の学びを参照できるため、学習形態 (誰とどのように学ぶか) や学習方法を自己選択し自己調整する力が身につけてきている。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

クラウドを活用することで、誰がどういった学びを進めているかを教員が常に確認することができ、個別の指導や支援が必要な生徒へのアプローチに役立てることができる。